美しいシスター

ここで静かにしてるですヨ
でもシスターは
ワタシは大丈夫ですからラ！
今思えばあの時一緒に付いていけばと後悔しています
…シスター

ビク
あ……
ドロ…♥
ギチ…
ヒク
ビクッ
ヒク♡
すぐにでも助けるのが正しい行いなんでしょう
でも…幼い僕は
ミスミタぁ…
トクン
トクン

その汚された
体に貪りつく
ことしか
できませんでした
ビクン
ビクッ
ちゅぱ♡
ボタッ
ピク
あ♡
あの優しい
匂いのした
シスターが
ドクッ
ビクッ

これですカ？
なで
両親の形見ですヨ
にこっ
ワタシは両親と神様に守ってもらってるのでス
ビクッ
ビクッ
・・・っ
ぐちゅっ
ポポポ
ぐちゅっ

ポイっ
カニっ
カンっ
ハァハァ
あぁ…シスター
どうして今のシスターが美しいと感じるのでしょうか
こんなに汚されているのに…
シスターっ！
ぐちゅぽっ♡

何度も何度も
出しました
ミスター♡
それでも僕は
収まらなかった
まだっ
ビクン
ピュ♡
あぁ

ヒクン
ビクン
見て…
シスター
まだこんなに
立っています
ヒクン
あっ
は♥
は♥
チュプ♥
あの時の
シスターは
じゅぽ♥
じゅぽ♥
本当に
美しかった

シスターからお誘いいただけるとは
ハッ
噂は本当だったのですね
ドキっ
イ…
幻滅しましたか
それでもどうか…
私を汚して頂けませんか？
ハァハァ…
僕もシスターみたいに…